

## 天平の匠に挑む—古代の知恵 vs 現代の技術

企画展会期：2021年8月17日（火）～ 10月8日（金）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今後、会期や休館等の情報が変更となる可能性があります。最新の情報は、ギャラリーエークウッドの公式サイトをご確認ください。

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ギャラリーエークウッドでは、2021年8月17日（火）から 10月8日（金）の会期で、「天平の匠に挑む—古代の知恵vs現代の技術」展を開催いたします。

2020年12月「伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコ無形文化遺産に登録され、古くから継承してきた17分野の技術が世界に認められました。本展では遺産登録を記念して、保存修理工事において最新の科学技術を駆使して謎の解明に取り組む技術者の知恵に注目します。

古代の匠が千年以上もつ建築をどのように造ったのか、また建築を未来へ継承するために現代技術がどのように活かされたのか。本展覧会では、1200年前の天平時代に建てられた国宝・唐招提寺金堂の平成大修理を通して、建築技術・彩色復原・木材などに焦点を当て、古代と現代の技術について対比的に紹介します。

この機会に貴紙誌にてぜひ記事としてお採り上げいただきたく、宜しく願い申し上げます。

謹白

2021年6月

公益財団法人ギャラリー エー クウッド

## ■企画概要

展覧会名：天平の匠に挑む—古代の知恵vs現代の技術

Endeavors in Master Craftsmanship in the Tenpyō Era:  
Ancient Wisdom and Modern Technology

会 期：2021年8月17日（火）～ 10月8日（金）

会 場：GALLERY A<sup>4</sup>（ギャラリー エー クワッド）

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 竹中工務店1F

開館時間：10：00～18：00（土曜・最終日は17：00まで）

休 館 日：日曜・祝日

入 館 料：無料

主 催：公益財団法人竹中育英会、公益財団法人ギャラリー エー クワッド

企 画：公益財団法人竹中大工道具館

特別協力：唐招提寺

協 力：金沢工業大学、京都大学 生存圏研究所、東京国立博物館、奈良県文化財保  
存事務所、奈良文化財研究所、株式会社竹中工務店、凸版印刷株式会社

お問合せ：ギャラリー エー クワッド事務局 03-6660-6011

E - m a i l : gallery@a-quad.jp GALLERY A<sup>4</sup> 公式サイト：<http://www.a-quad.jp>

\*本展は巡回展です。2021年10月に竹中大工道具館（神戸）にて開催予定です。

## ■展示概要

- ・唐招提寺金堂 迫力ある十分の一サイズの模型（東京会場限定）。外観・内部・断面構造まで詳細に見ることができる。
- ・唐招提寺金堂の変遷（元禄修理・明治修理・平成修理）をCGで紹介し、平成大修理の構造補強について模型・VR映像を用いて分かりやすく解説。
- ・天平時代の彩色を復原した実物大模型・復原画の他、白描図（部材から文様を写し取った記録）、彩色の顔料・道具を展示し、彩色復原の手法について紹介。
- ・唐招提寺金堂 創建当初（8世紀）の古材、古瓦、古釘を展示。
- ・古材の年輪を測定する「年輪読み取り器」など、年輪年代学について解説。
- ・唐招提寺金堂平成大修理の映像コーナーを設置。

■ 広報用画像



a. 唐招提寺金堂  
©奈良県文化財保存事務所



b. 唐招提寺金堂 平成修理の構造補強  
©奈良県文化財保存事務所



c. 唐招提寺金堂 組物解体の様子  
©奈良県文化財保存事務所



d. 唐招提寺金堂 十分の一模型  
(東京国立博物館蔵)  
※東京会場のみ展示



e. 唐招提寺金堂 十分の一模型  
(東京国立博物館蔵)  
※東京会場のみ展示



f. 唐招提寺金堂 実物大組物模型  
(唐招提寺蔵)



g. 唐招提寺 創建当初の古材 8世紀  
(唐招提寺蔵)



h. 唐招提寺金堂  
身舎支輪彩色復原模型  
(唐招提寺蔵) ※部分展示  
©奈良県文化財保存事務所



i. 唐招提寺金堂  
扉宝相華彩色復原図  
(唐招提寺蔵)  
©奈良県文化財保存事務所



j. 唐招提寺金堂  
身舎天井彩色復原模型  
(唐招提寺蔵)  
©奈良県文化財保存事務所